

薩摩川内市

平佐西地区コミュニティ協議会

団体の紹介・活動の目的

薩摩川内市のほぼ中心部の川内駅東側に位置し、約6千世帯、13,000人が住む地域コミュニティ組織です。地区内には保育園、幼稚園、小中学校、高等学校、大学までが揃う北薩随一の文教地区です。

地区振興計画に基づいて、行政に頼らない地区住民主体の地域づくりを実践しており、生涯学習の取組を中心に地域の高齢者を支える仕組みづくりや、将来を担う世代の活躍を引き出すことを目指し「住み慣れた地域で知恵を出し、協力し助け合って明るい安心安全な平佐西地区に」を目標に地区住民主体の地域づくりを実践しています。

連携・協力している団体など

21の自治会、地区内の小中学校、保育園、小中学校PTA、高齢者クラブ、民生委員児童委員、消防後援会、交通安全協会地区支部 など

活動の内容

市内で最多の住民が住む地域として、住民同士の連帯を深め、文化に触れる機会を作るため、生涯学習への取組に力を入れています。また、高齢化が進んでも、住民が健康で安心して地域に住み続けられるよう、全地区住民参加型サロンや介護予防講座等を実施しています。更なる横の連携を図るため、介護予防に関するフォーラムを2月に開催します。また、青少年育成のため、小中学校とも連携し、短歌・俳句コンテストの実施や、親子いっしょの体験事業として、「親子で行くおれんじ鉄道の旅」も実施しています。

1



「普段聴く機会の少ない落語を堪能する地区住民の皆さん」
生涯学習の取組として、「落語」、「映画」、「講演会」など実施しています。平成29年6月に開催した「爆笑落語4人会」の様子です。

2



「自治会に出向き『生活支援』について協議中」
高齢者が安心して暮らし続けられるよう、地域の様々な団体と連携して、地区住民が集う場と地域で支える仕組みづくりについて知恵を絞っています。

3



「芝桜満開の日を夢見て、みんなで植栽」
川内駅東側の開発に合わせ、道路沿いに地区のシンボルとなる芝桜を植栽し景観美化を進めています。約440mに8,500株を植栽しました。

4



「楽しそうな『親子の声』と『笑顔』あふれる車内」
夏休みに、肥薩おれんじ鉄道を貸し切り、ゲームをしたり、お弁当を食べました。水俣市に行くまでの車内の様子です。